

新たな取組の紹介 ー 流域治水 × グリーンインフラ ー

令和4年 3月 14日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

グリーンインフラを取り入れた流域治水

- 自然環境が有する多様な機能を活用した「グリーンインフラ」の社会実装により、CO₂吸収源対策のほか、生態系の保全、雨水貯留・浸透等の防災・減災、ポストコロナの健康でゆとりある生活空間の形成、SDGsに沿った環境と経済の好循環に資するまちづくりなど、多面的な地域課題の複合的解決を図る、持続可能で魅力ある地域づくりを分野横断・官民連携により推進する。

《流域治水におけるグリーンインフラの活用推進等》

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、流域に関わるあらゆる関係者により流域全体で行うハード・ソフト一体の「流域治水」において、雨水貯留・浸透機能を有するグリーンインフラの活用を推進
- ※ 流域における雨水貯留対策の強化等を含め、「流域治水」の実効性を高めるための「流域治水関連法」が成立(R3.4)

《生態系ネットワークの保全・再生・活用、健全な水循環の確保、CO₂吸収源の拡大、ヒートアイランド対策の推進》

- 都市の緑地の保全・創出、屋上・壁面緑化を含む都市緑化、まちなかウォークアブル推進プログラム等による都市の緑地の活用等
- 河川を基軸とした生態系ネットワークの形成、かわまちづくり等の魅力ある水辺空間の創出



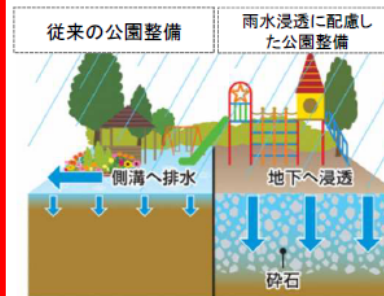
兵庫県豊岡市
コウノトリの野生復帰



Marunouchi Street Park 2020

《グリーンファイナンスを通じた地域価値の向上》

- グリーンインフラを活用した魅力的な都市空間の再構築、低未利用地を活用した地域空間の再生等への民間資金の活用



雨水浸透や緑陰形成等に配慮した公園整備



二子玉川ライズ



《グリーンインフラ官民連携プラットフォームの活動拡大等を通じた社会実装の推進》

- ※ 産学官の多様な主体が参加する情報・ノウハウ・技術・経験の共有の場【会員数1,117(R3.5末)】

企画広報部会

技術部会

金融部会

- グリーンインフラの社会的普及(パートナーシップ構築等)
- グリーンインフラ技術の調査研究(効果評価等)
- 民間資金活用方策の検討(グリーンボンド等の活用)

出典:「国土交通グリーンチャレンジ概要、令和3年7月6日」(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001412432.pdf>)

※ 赤枠は上記資料に加筆

グリーンインフラがもたらす多面的な効果

従来から自然環境が持つ機能を
活用し、防災・減災、地域振興、
環境保全に取り組んできた

グリーンインフラで 憩う



オープンスペースを活用した
健康イベント(東京都立川市)

コロナ禍を契機として、自然豊か
なゆとりある環境で健康に暮らす
ことのできる生活空間の形成が
一層求められている

グリーンインフラで つなぐ



地域住民による緑地の維持管理
(新潟県見附市)

グリーンインフラは、植物の生育
など時間とともに機能を発揮。
地域住民が計画から維持管理まで
参画できる取組

令和元年東日本台風時に、公園と
一体となった遊水地が鶴見川の水
を貯留し災害を防止するなど、
**気候変動に伴う災害の激甚・頻発
化への対応**に貢献

グリーンインフラで 守る



鶴見川多目的遊水地
(神奈川県横浜市)

SDGs、ESG投資への関心が高ま
る中、人材や民間投資を呼び込む
**イノベティブで魅力的な都市空
間の形成**に貢献

グリーンインフラで 呼び込む



緑や水が豊かなオフィス空間
の形成(東京都千代田区)

**グリーンインフラの活用により、防災・減災、
国土強靱化、新たな生活様式、SDGsに貢献する
持続可能で魅力ある社会の実現を目指す**

流域治水×グリーンインフラ 河川環境分野の取り組み

防災・減災

環境

地域振興

グリーンインフラで 守る



河川事業と公園事業の共同事業により、河川の洪水調整機能を備えた多目的遊水地として整備



河川の改修にあたり自然環境や周辺景観等と調和した川づくり



地域と行政が一体となり整備した大規模湿地再生



川とまちが一体となった地域の憩いと賑わいの場を創出

グリーンインフラで つなぐ



水辺での遊び、自然体験・学習の場として子供達の健やかな成長を支え育む



休耕田の湿地化の活動を支援するとともに環境学習、研究拠点として活用



水辺を愛する多くの人を巻き込み、まちと水辺が一体となった魅力ある街づくり（ミズベリングでみんなをつなぐ）

グリーンインフラで 憩う



市街地の貴重な安らぎ空間として利用



・水辺の健康増進プログラム（ピラティス）
・SUP上での水上ヨガ

グリーンインフラで 呼び込む



池を中心とした自然とのふれあいや、スポーツなどの心身を育む場（世界規模のパークランや吹奏楽部を誘致した音楽祭など開催）



コウノトリ米はブランド米として高値で取引され、バードウォッチャーなど、年間約7千人が訪れる



水辺を生かした地域の賑わいを創出

流域治水×グリーンインフラの取組事例

- 横浜市では、SDG s 未来都市計画、中期4か年計画、環境管理計画、水と緑の基本計画、下水道中期経営計画等の各種計画に基づき、分野横断によるグリーンインフラの活用を総合的に推進。
- グランモール公園（2018年再整備）では、浸透側溝や保水性舗装、植栽地等から地中に浸透させた雨水を雨水貯留砕石に保水させることにより、樹木や保水性舗装からの蒸発散による微気象の緩和、樹木の良好な育成、緑陰の形成を促し、憩い・賑わい空間の形成、暑熱緩和対策、浸水対策等の機能を発揮。
- 公園の新設や更新の機会に合わせたレインガーデンや、浸水対策・水循環の再生を目的とした雨水浸透ますの設置、農地の保水・生産機能を高めるための基盤整備等にも取り組み、流域全体における雨水の貯留浸透機能の向上を図ることで、気候変動に適応した減災の取組を推進。

流域全体での雨水貯留浸透機能の活用（神奈川県横浜市）



レインガーデン
 広場や園路を改良し、周辺の雨水を集めるレインガーデンを整備することで保水・浸透機能の向上と植栽の良好な育成を図る



農地での作業状況
 畑の土を深く耕すことにより、保水・浸透機能と生産性を高める試験的な取組



市民の憩いの空間として機能する
 提供 横浜市 グランモール公園



側溝・保水性舗装から入った雨水は、雨水貯留浸透基盤により地表までしみ上がり、蒸発散作用により気温の低減効果が発揮

出典：横浜市提供資料、グリーンインフラ総研